

町花・キャッチフリーズ決定



記念の楯を持つ今田さんと細川さん

昨年募集を行っていた、南部町のキャッチフリーズと町花が決定しました。

103点の応募の中から、町のシンボルとなる町花は、今田文枝さんの「桜」、キャッチフリーズは細川みゆきさんの「見てごしない、桜と蛍の舞う町 南部町」、に決定し、8月2日に町長から記念の楯が贈られました。

今田さんは、「桜は私自身も好きな花なのでうれしい。南部町も桜のように栄えていつてほしい」と話されました。

子ども会ナイトウォーク

8月4日の夜から翌朝にかけて、20人の児童が約15kmのナイトウォーク（南部町子ども会育成連絡協議会主催）に挑戦しました。午後9時にさいはく分館を元気にスタート。馬佐良、御内谷を通り、カントリエレベータ付近からゴールのふるさと交流センターまで、児童全員が協力しながら完歩し、仮眠をとった後、母塚山山頂で朝日を見ながら朝食を食べました。帰り際にスタッフにお礼を言う児童の顔は達成感に満ちていました。



ゴール後の元気な子ども達とスタッフ

中国地区野球大会



第29回中国中学校軟式野球選手権大会が8月7日から開催され、各県の予選を勝ち抜いた12校が熱戦を繰り広げました。



西伯カントリーパーク野球場では、炎天下の中、1、2

2回戦4試合が行われ、初戦に勝った栗原中学校（広島）主将の新田直也君は「ベンチやグラウンドもきれいで戦いやすかったです」と球場の感想を話してくれました。

夏休みの思い出を描く

地元の画家加藤哲英さんの指導で、夏休み中の小学生を対象に写生会が行われました。加藤さんは、5年程前から毎年夏休みに写生会を開催されており、例年多くの児童が参加しています。今年は、夏休み前半の7月24日に西伯文化会館、後半の8月25日にふるさと交流センターで行われ、合わせて32人の児童が参加しました。

子ども達は加藤さんのアドバイスを受けながら、思い思いの夏の思い出を画用紙に描いていました。



加藤さんと参加した子ども達